

平成20年度一般会計当初予算額

【活力】もうかる農林水産業「The・おおいた」ブランド確立戦略

(単位：千円)

事業名	平成20年度 当初予算額 (19年度7月 現計予算額)	当初予算額の概要	所管課
○消費の変化に対応する県域生産・流通体制の整備			
100 特 新たな契約販売体制支援事業	6,077 (0)	多様な消費者ニーズや大型化する量販店等の注文に迅速・的確に対応するため、市場外流通による契約販売に取り組む新たな流通・販売体制を整備する。 ・卸業者・農業団体・県で構成する契約販売テストカンパニーに対し助成	おおいたブランド推進課
101 「The・おおいた」ブランドづくり支援事業	73,133 (85,317)	大量・周年ニーズに対応したブランドづくりを進めるため、県域での生産流通体制を整備する。 ・広域普及指導員を中心とする品目別プロジェクトチームの産地振興の取組を強化 ・メーカー(県職員)、マーケティングアドバイザー(流通関係者)を東京、大阪、福岡に配置 ・ホームページの充実による情報収集及び発信機能の強化 ・認定品目(こねぎ、トマト等)の施設整備の補助率嵩上げ	おおいたブランド推進課
102 県産農産物首都圏販路拡大対策事業	3,163 (6,123)	首都圏での県産農林水産物の販路開拓を図るため、実需者を招いた試食商談会を開催する。 生産団体等が行う販売活動に対し助成するとともに、県内卸売業者の首都圏における販売力の強化を支援する。	おおいたブランド推進課
103 ブランドを育む園芸産地整備事業	527,914 (401,717)	競争力のある園芸産地づくりを進めるため、経営感覚に優れ、企業の経営規模を持つ農業者の育成を図る。 ・日本一の規模を目指す経営体の施設整備に対し助成(宇佐市、臼杵市) ・新規農業参入者の初期の負担軽減を図るため、大規模リース団地を整備する県農業農村振興公社に対し助成(大分市、豊後大野市) 【新】こねぎの広域集出荷施設を整備する県域農協に対し助成(宇佐市)	園芸振興室
104 ブランド認定品目流通対策事業	5,926 (21,618)	トマト、こねぎ、白ねぎ等ブランド認定品目の販売活動を戦略的に進めるため、生産者等が行う生産拡大や流通改善の取組に対し助成する。 ・生産者団体が行う銘柄格統一のためのフィルム等の作成 【新】トマトの品質向上のための予冷施設の導入(竹田市)	おおいたブランド推進課
105 大分の茶産地強化対策事業	50,000 (47,000)	「おおいた茶」のブランド確立に向け、産地の規模拡大と省力化、品質の向上を図るとともに、緑茶飲料メーカーとの連携に基づく新たな茶産地づくりを行う農業法人等に対し助成する。	園芸振興室
106 特 GAP導入プロジェクト推進事業	10,589 (0)	より安全で、安心できる農産物づくりを推進するため、生産者自らが農産物の安全管理等を行程ごとに実施するGAP(Good Agricultural Practice)手法の導入を促進する。 ・GAP導入マニュアルの作成 ・NPOとの連携によるフォーラムの開催など普及啓発を推進 ・生産者団体のGAP導入の取組に対し助成	おおいたブランド推進課
107 特 県域農協活動支援事業	46,181 (0)	20年6月に設立が予定されている県域農協に対し、営農サービスの向上や組合員の利便性を確保する取組に対し助成する。 ・営農よろず相談室の設置 ・営農情報タッチパネル検索システムの導入(70店舗) ・流通・販売専門家育成研修 ・移動店舗車の導入(4台)	団体指導・金融課
108 新 子牛市場再編整備緊急対策事業	14,847 (0)	20年4月に再編オープンする豊後玖珠市場、豊後豊肥市場の施設整備に対し助成する。 ・子牛用宿舍の増設 ・子牛誘導レールの増設	畜産振興課

※ (特) は「おおいた挑戦枠事業」、(新) は「新規事業」、(枠) は「部局枠事業」

平成20年度一般会計当初予算額

【活力】もうかる農林水産業「The・おおいた」ブランド確立戦略

(単位：千円)

事業名	平成20年度 当初予算額 (19年度7月 現計予算額)	当初予算額の概要	所管課
○力強い経営体確保対策			
109 特 企業等農業参入推進事業	51,633 (0)	農業関連企業の誘致と異業種からの参入を促進するため、農地の集積に取り組むなど参入企業を支援する。 ・農業農村振興公社に農地集積のための地方駐在員2名を配置 ・遊休施設の機械庫・集出荷施設への改修に要する経費に対し助成 ・整地、畦畔除去、土づくりに要する経費に対し助成	農山漁村・ 担い手支援 課
110 大規模園芸団地等育成支援事業	6,005 (3,250)	県外企業や異業種からの新規農業参入者の大規模な農地確保を図るため、賃貸借権の設定や所有権の移転を行う市町村に対し助成する。	園芸振興室
111 枠 遊休農地再生活動支援緊急対策事業	127,548 (25,634)	県外企業や異業種からの新規農業参入者の大規模な農地確保を図るため、茶園やかぼす園として、遊休農地を緊急に整備する市町村等に対し助成する。 ・茶園造成(5ha→20ha) ・カボス園造成(0ha→22ha) ・遊休農地整備(0ha→120ha)	農山漁村・ 担い手支援 課
112 特 稲作経営転換支援事業	7,500 (0)	米価の下落により厳しい経営環境にある水稻専作農家の経営安定を図るため、食品加工企業からニーズの高いタマネギ等露地野菜との複合経営への転換を支援する。 ・野菜生産に必要な機械整備に対し助成 ・土壌転換に要する経費に対し助成	集落・水田 対策室
113 特 肉用牛大規模経営体ジャンプアップ事業	5,000 (0)	肉用牛農家の経営安定を図るため、繁殖雌牛50頭規模への増頭を行う畜産農家に対し助成する。	畜産振興課
114 肉用牛肥育総合対策事業	11,619 (10,400)	肥育牛の増頭を図るため、優秀な肥育素牛を導入する肥育農家を支援するための基金を造成するほか、繁殖から肥育までの一貫経営を開始・拡大する畜産農家に対し、素牛の導入等に要する経費を助成する。	畜産振興課
115 肉用牛経営新規参入促進事業	84,091 (60,870)	参入後の未収益期間が長い肉用牛経営への新規参入を促進するため、新たに肉用牛経営を始める農業者へのリース用の肉用牛畜舎・堆肥舎を整備する農協等に対し助成する。	畜産振興課
116 特 飼料米生産拡大実証モデル事業	6,300 (0)	食用米の転作を図るとともに畜産農家の飼料価格の高騰に対応するため、代替飼料として有効な飼料米の栽培に取り組む集落営農組織等に対し助成する。	家畜衛生飼 料室
117 新 バイオマス活用エコフィード拡大モデル事業	800,940 (0)	畜産農家に安価な飼料原料の供給を図るため、焼酎粕を利用した飼料調製施設を整備する食品関連企業に対し助成する。 (宇佐市)	家畜衛生飼 料室
118 特 農業大学校機能強化推進事業	2,932 (0)	経営感覚等を備えた農業者を育成するため、研修内容の充実など、農業大学校の機能強化を図る。 ・指導農業士等先進農業者による実習の導入 ・4年制大学編入対策講座の開設 ・経営感覚育成講座の開設	農山漁村・ 担い手支援 課

平成20年度一般会計当初予算額

【活力】もうかる農林水産業「The・おおいた」ブランド確立戦略

(単位：千円)

事業名	平成20年度 当初予算額 (19年度7月 現計予算額)	当初予算額の概要	所管課
○魅力ある農村づくり			
119 (特) 気象変動に対応した水田農業生産体制確立事業	4,557 (0)	夏期の異常高温により本県水稲作付け面積の大半を占める「ヒノヒカリ」の品質が低下し、米農家の経営を圧迫しているため、作期分散が出来る晩生品種など他品種への転換を促進する農協に対し助成する。 ・転換品種 「あきまさり」、「にこまる」 ・普及展示圃の設置、技術指導 ・新品種の販売促進活動	集落・水田対策室
120 おおいた集落営農組織育成・強化緊急対策事業	140,371 (140,158)	品目横断的経営安定対策等に対応するため、集落リーダーの養成や高性能農業機械の導入等に支援し、集落営農の組織化・法人化を推進するとともに、経営安定を図るため、野菜・花き等の新規品目の導入等を促進する。 【新】農協等の遊休施設を活用し、機械庫等へ改修する集落営農組織に対し助成する。	集落・水田対策室
121 農地利用集積促進対策事業	76,938 (89,062)	規模を拡大し効率的な生産体制の強化を図るため、担い手への農用地の集積を促進する市町村の取組に対し助成する。 ・農用地利用改善団体等に対し賃借権設定や農作業受委託の面積に応じた促進費 ・集積した農地に対する整地、客土等簡易な基盤整備 ・農地情報の公開による引受希望者のインターネット等による公募	集落・水田対策室
122 (特) 加工需要対応型産地支援事業	1,916 (0)	食品産業との連携による県産農林水産物の生産拡大を図るため、食品産業・産地・大学等で構成する農工連携の推進協議会を組織し、産地とのマッチングや商品開発を推進する。	おおいたブランド推進課
123 農地・水・環境保全向上対策事業	143,800 (158,700)	県土の保全機能を有する農地や農業用の水路・道路等の適切な維持管理を図るため、農家と住民による草刈り等の共同活動に対し支援する。	農村整備計画課
124 (特) 小規模集落支援モデル事業	3,332 (0)	小規模集落の機能維持を図るため、中山間地域等直接支払制度に取り組んでいる集落の担い手等が、小規模集落の水路、農道等を保全管理する活動に対し交付金を支給する。 ・交付単価(10a当たり) 田：10千円、畑：6千円	農山漁村・担い手支援課

平成20年度一般会計当初予算額

【活力】もうかる農林水産業「The・おおいた」ブランド確立戦略

(単位：千円)

事業名	平成20年度 当初予算額 (19年度7月 現計予算額)	当初予算額の概要	所管課
○持続的経営が可能な森林づくり			
125 特 乾燥小割材出荷体制整備 事業	8,465 (0)	大分方式乾燥材等の販路拡大を図るため、大手プレカット工場などの需要に対応できる乾燥小割材の生産体制を整備する日田市に対し助成する。 ・実施主体 日田木材流通センター	林産振興室
126 大分方式乾燥材販売促進 対策事業	5,726 (5,686)	県産材の需要拡大を図るため、県内外において大分方式乾燥材の販売促進活動を行う県木材協同組合連合会や県産材流通情報センター等に対し助成する。 【新】大分方式乾燥材取り扱い協定工務店・設計事務所が行うPR活動に対し助成する。	林産振興室
127 集団営林総合対策事業	27,972 (30,113)	森林施業の効率化を図り収益性を向上させるため、小規模な森林施業地の集約を行う森林組合に対し助成する。 高性能林業機械の導入や効率的な路網の整備に対し助成する。	林務管理課
128 林業・木材産業構造改革 事業	794,191 (55,040)	県産製材品の生産拡大を図るため、木材処理加工施設を整備する佐伯広域森林組合に対し助成する。	林産振興室
129 新 原木安定供給総合対策事 業	116,372 (0)	計画的、安定的な原木生産体制を確立するため、高性能林業機械を導入する森林組合や素材供給組合に対し助成する。 (中津市、日田市、宇佐市、玖珠町、九重町)	林産振興室
130 木の温もりあふれる学舎 整備事業 (森林環境税活用事業)	31,885 (29,802)	県産材の利用拡大を図るため、保育所、幼稚園、小中学校における県産材を用いた内装整備に対し助成する。 (大分市、中津市、日田市、佐伯市、杵築市、玖珠町)	林産振興室
131 椎茸生産基盤整備総合対 策事業	111,107 (171,185)	椎茸の生産性向上と増産を図るため、生産基盤の整備と生産施設の近代化を進める。 ・人工ほだ場や発生ハウス等を整備する生産者協業体等に対し助成 ・低コスト簡易作業路を整備する生産者等に対し助成 ・椎茸農協が組合員に貸し付ける椎茸乾燥機購入費に対し助成	林産振興室
132 夢拓く椎茸経営支援対策 事業	5,168 (5,210)	将来の椎茸生産を担う中核的生産者を育成するため、新規参入者に原木を供給する森林組合に対し助成する。 新規参入者に林内作業車や乾燥機をリースする県椎茸農業協同組合等に対し助成する。	林産振興室
133 特 放置竹林活用対策事業	8,600 (0)	竹材生産やたけのこ生産を振興するため、県竹産業連合会や森林所有者等が行う竹林整備に対し助成する。 増加する放置竹林を有効活用するため、竹に関する知識や技術を学ぶ「竹林楽校」を開講する。	林産振興室

平成20年度一般会計当初予算額

【活力】もうかる農林水産業「The・おおいた」ブランド確立戦略

(単位：千円)

事業名	平成20年度 当初予算額 (19年度7月 現計予算額)	当初予算額の概要	所管課
○水産物流通対策の強化と販路の拡大、資源管理強化型漁業の推進			
134 特 ブリ等養殖業経営改善緊急対策事業	20,680 (0)	原材料費の高騰に対応するため、ブリ等養殖業者に対し支援する。 ・漁業近代化資金枠の拡大(10億円) ・追加利子補給(最大0.6%) ・魚粉代替配合餌料の開発 ・単価向上のため漁協が行うフィレ加工費に対し助成 〔債務負担行為額 54,620〕	水産振興課
135 チャレンジ・日本一ヒラメ販売強化事業	4,699 (4,191)	日本一の生産量を誇る養殖ヒラメのブランド化を図るため、生産・流通の改善を推進するとともに、販路拡大活動などを行う県漁業協同組合や生産者団体等に対し助成する。 ・バイヤー等との商談会や共同出荷等の取組 ・加工品の消費拡大等の取組	漁業管理課
136 新養殖魚種マハタ推進事業	4,326 (22,326)	新たな養殖魚種として有望なマハタの養殖を推進するため、県水産養殖協議会が行う養殖試験用の種苗購入に対し助成する。	水産振興課
137 クルマエビ養殖生産回復支援事業	6,648 (6,648)	ウイルス病の発生により生産量が低下している養殖クルマエビの生産回復を図るため、養殖業者が行う養殖池の砂交換等に要する経費に対し助成する。 (国東市、姫島村)	水産振興課
138 特 水産物販売基盤強化事業	3,971 (0)	漁業者の所得向上を図るため、県漁業協同組合が行う販路拡大や流通改善の取組に対し助成する。 ・海区ごとの販売リーダー(5名)による首都圏等での販路拡大活動 ・バイヤーとの意見交換や輸送技術の工夫等による流通改善	漁業管理課
139 「The・おおいた」ブランド水産物育成事業	7,814 (6,373)	くにさき銀たちや豊の活ぶり等のブランド水産物の販売促進活動等を行う県漁業協同組合に対し助成する。 ・関西や福岡の量販店バイヤー等との商談会の開催 ・豊前海でのガザミやハモ、豊後水道北部・南部でのアジ・サバ類等の共同出荷体制の構築	漁業管理課
140 特 赤潮等養殖被害防止対策事業	12,672 (0)	ヒラメ等陸上養殖の赤潮被害を防止するため、養殖業者が行う純酸素供給装置の設置に対し助成する。 養殖ヒオウギガイの貝毒被害を軽減するため、新規の避難漁場を確保する。	漁業管理課
141 漁業担い手確保育成活用事業	8,382 (12,311)	青年漁業者等を対象とした「豊の浜塾」や小中学生を対象とした「マグロ教室」等を開催し、中核的漁業者や漁業後継者を育成する。	水産振興課
142 特 環境改善型複合養殖実証事業	4,348 (0)	養殖場における水質環境を改善するため、環境悪化の原因である窒素・リンを吸収する海藻(ヒロメ・アオサ)養殖を活用した漁場環境改善効果の実証を行う。 養殖したヒロメを餌とするアワビとヒラメ等の複合養殖を行う漁業者に対し助成する。	水産振興課